

生き方・いろいろ・ゆたかな人生

まなこ



85
2012 Aug.



特集 自分らしく生きる 男性たちの現在



意識の変化を迎えた男性たち……………2P

仕事も家庭も人生まること楽しむ大人と
学生をつなぎたい!……………4P

PTA活動の中でがんばる父親たち……………4P

男性保育士の存在は現代家庭のロールモデルになる!…5P

子どもたちの心の栄養には男性も女性も必要……………5P

自分らしく生きる 男性たちの現在

互いを尊重し合い、支え合う男女共同参画社会は、どんな社会でしょうか。
男性女性の枠にとらわれず、様々な分野でいきいきと活躍されている男性たちの現在を特集します。

意識の変化を迎えた男性たち

細谷実さん

関東学院大学経済学部教授
階級階層、人種民族、ジェンダー（社会的に構築された男／女のあり方や相互関係）の3つの視点から社会を分析し、社会におけるイデオロギーの構造と機能についての研究をしている。

男女共同参画の 近年の推移と現状

近年、様々な分野で活躍している女性の姿がクローズアップされるようになりまし。また、業界によっては女性の管理職も増え、このような傾向から社会の男女共同参画が進んでいると言つことはできると思います。

ただし、この見方には性差がありません。男性側は「男女共同参画が進んでいる」という意識を持ちはじめましたが、女性側は「十分ではない」という意識が強いのが現状です。このように男女のとらえ方にギャップがあること自体が、今の社会が抱える問題のひとつと言えるでしょう。

点もあります。セクシャル・ハラスメントに関して声をあげて訴えられるようになったことや、女性の非正規雇用の問題に対する取り組みがされていることなどは、評価に値すると思います。また、若い世代に関しては、性別にこだわらずにコミュニケーションが取れており、職場で男女が対等な立場で話ができる文化が育っているのは大きな変化だと思えます。

曖昧な労働規制と 社会の中の意識の差

男女共同参画が進んでいる諸外国のデータを見ると、どの国も伝統的に労働運動が強い傾向があります。その結果、それらの国は総じて仕事の総時間規制、一日当たりの就労時間規制をしっかりと勝ち取っています。この点において、日本は労働規制の設定が非常に曖昧になっています。

しかし、数値などでとらえる実際の体制としては、あまり変化がないのが実情です。国際比較の観点から見ると、残念ながら日本の男女共同参画は、戦後からさほど進んでいないレベルにあります。「女性が活躍できるようにする体制はまだまだ整っていない」というのが、女性側からの率直な意見だと思えます。



実力主義が浸透しつつある 新しい社会

最近の若い男性たちはワーク・ライフ・バランスの中のライフの部分を見つめてきました。これは「仕事に生きがいを見つけれ」という意識から、「身近な人間関係に幸せを見出す」という意識への変化だと考えます。

また、彼らの世代には実力主義という意識も浸透しています。女性だから、男性だから、という意識は薄れ、以前は女性の仕事と見られていた保育や看護の仕事でも、若い男性の姿が見られるようになりました。

取材：文 詩水淳子

す。労働組合側にも長時間労働を受け入れる体質が育っており、それも過剰な労働体制を生み出す元凶となっています。

さらに現在の日本では、この長時間労働を受け入れていた世代が会社の決定を担う立場にあり、その状況が労働時間の改善を難しくしている面もあります。そうした上の世代の意識と、「もう、長時間労働という考え方は時代にあつていないのでは？」という若い世代の意識の間に、ギャップがあるのも

問題です。そのギャップに目を向けず、職場の責任者が下の世代に長時間労働を強要している現状は、改善されるべきでしょう。

日本における男女共同参画が進まない根本的な要因は、この労働規制がはつきりしていないことだと考えます。男女が同じ条件で働くということは、現在の厳しい労働条件を女性も同じように負担するということです。それを受け入れては労働環境の改善は難しく、男女が平等に活躍できる社会実現の足かせになります。理想的な男女共同参画社会にするには、働きやすい労働条件を先に確立することが必要です。

日本の労働法は運用の仕方次第で、ワーク・ライフ・バランスを推進することが可能です。今後は、この労働時間短縮に向けた社会への働きかけを、男女共に協力しあつて進めて



『男の未来に希望はあるか』
細谷実 著
【はるか書房】
日々の生活の中で男性をとりまく様々なテーマが語られている。

男性のための悩み相談先

★東京ウィメンズプラザ：男性のための悩み相談
夫婦・子どもの問題、職場や地域の人間関係、セクハラやDVなどの暴力の問題など、男性の抱えるさまざまな悩み男性相談専門の相談員が対応。
TEL：03-3400-5313
(祝日・年末年始を除く月・水曜日 17～20時)

★いのちと暮らしの相談ナビ
：生きる支援の総合検索サイト
自殺対策支援センター「ライフリンク」が運営する検索サイト。過労や借金、生活苦、メンタルヘルスなど、さまざまな社会問題への支援策や相談窓口が、簡単に検索できる。
<http://lifelink-db.org/>

★市民こころの健康相談室
TEL：0422-55-6003
来所相談 毎週水曜日 13～15時（予約制）
電話相談 毎週水曜日 10～12時 13～15時
（第2・4水曜日は17～20時も可）
第2・4土曜日 10～12時 13～15時
ただし祝日・年末年始は除く

仕事も家庭も人生まるごと楽しむ大人と 学生をつなぎたい!

学生のうちから「親になること」を念頭において就職や、将来を考えるには、人生の先輩たちとの出会いも大切。その支援をしている Fathering Japan Students の現役大学生の巖谷さんと Fathering Japan の事務局長・徳倉さんに、活動について伺いました。

いんわや ようじろう
巖谷陽次郎さん
 首都大学東京4年生
 とうへんや さすお
徳倉康之さん
 Fathering Japan 事務局長

*NPO法人 Fathering Japan (FJ)
 「父親であることを楽しむ」をスローガンにした父親の子育て支援団体。http://www.fathering.jp/
 *Fathering Japan・ジャパン・スチューデント (FJS)
 FJの学生組織。「仕事」も「家庭」も両立する親との出会いの場を持ちながら、「働くこと」と「親になること」の両面から将来の自分を考えるきっかけ作りを提供している。http://www.fjstudents.com/

▼巖谷さんがFJSに参加した動機は何ですか？

巖谷さん (FJS) 人生のなかで「親になること」を視野に入れて、卒業後の仕事をちゃんと考えたいと思ったからです。無縁社会とか核家族化などと言われるように、子育ても夫婦だけで考えなければならぬという現実も動機のひとつです。うちは両親が共働きで、父も育児に積極的でしたが、中・高校時代の友だちの父親がいゆる育児参加しない人が多かったんです。あの頃は父親に対していろんなことを思いました。

▼FJSに参加してから変わったことはありますか？

巖谷さん 以前は安定志向だったんですが、FJの



FJSの巖谷陽次郎さん(左)とFJの事務局長・徳倉康之さん(右)

諸先輩方と関わるうちに、素直に自分のやりたいことを仕事にしたいと思えるようになりました。

▼FJSの子育て体験ホームステイという活動はどんなものですか？

徳倉さん (FJ) FJ会員の家庭に数時間、長ければ2日間訪問します。20代前後の若者たちに、リアルな『ありのままの家族のあり方』を体験してもらい、その姿を通して自分の未来像を描く。本やセミナーでは得られない貴重な体験ですね。

巖谷さん 実際には、任せ合つのではなく一緒に家庭を切り盛りしている感じで、「家族」って意識し合えることが大切なんだと思えたことがよかったです。

▼FJSとFJの今後の活動は？

巖谷さん FJのさまざまな諸先輩方に、仕事や人生の話聞くことが、この先の人生の学びになるんだということもFJSではどんどん提供していきたいです。

徳倉さん *イクメンがまだまだ特別視されていますが、5年後には「イクメンが普通」の社会になってFJが発展的解消できたらーというのが目標です(笑)。

【取材・文 藤原理和】
 *イクメンは「イクメン」が変化したもので、育児を積極的に率先して行う男性

PTA活動の中でがんばる父親たち

市内の小中学校では、父親たちの団体が様々な活動をしていますが、井之頭小学校では、夏の恒例行事として、父親だけで企画運営される学校宿泊体験が行われています。「学校宿泊体験実行委員会(通称・おやじの会)」の実行委員長 長崎達也さんにお話を伺いました。

つるさき たつや
鶴崎達也さん

「学校宿泊体験実行委員会(通称おやじの会)実行委員長」



小6と小1の2児の父親

学校宿泊体験は防災訓練の一環として、1995年の阪神淡路大震災をきっかけに地域の父親たちが集まり、自然発生的に「おやじの会」が生まれ、以来14回開催されています。

地域の防災訓練や父親とつくり上げるイベントなどの主旨にもつき、カレーライスを作って食べ、ゲームや肝だめしを楽しみ、防災用マットを使って体育館で寝泊りします。

きっかけは、長男が1年生の時に一緒に参加したからです。もともと野外活動好きで、宿泊体験にも興味をもち、その年の事前打ち合わせから参加し、多くの父親が積極的に意見交換している姿に感銘を受け、毎年参加するようになりました。

ふだんはPTAや地域活動に携わることはいらないけれど、これを通して地域の方々やお父さん方と知り合い、「コミュニケーションが図れたことが良かったです。地域の輪が広がり、地域活動を身近に感じました。

「おやじの会」は、毎年、行事のために集まり、終われば解散するという無理のない自然体でやっています。だからこそ継続され、「来られる人が集まり、自分のやれることを自発的にやる」スタンスを保っています。今後の課題としては、昨年の東日本大震災時のように帰宅できないケースもあるため、お母さん方との連携や他校との情報交換や交流などがあげられます。毎年続けてやることも大事ですね。

【取材・文 杉田真奈美】

子育ては男も女も皆でするもの 男性保育士の存在は現代家庭のロールモデルになる!

市立認可保育所の男性保育士は各園に1名程度の配置とまだ少ないなか、民間の認可保育所である西久保保育園は正規の男性保育士が3名とその数は多いと言えます。その男性保育士の先生方に、男性から見た保育の今とこれからについてお話を伺いました。

▼保育士を目指したきっかけを教えてください

西巻先生 大学での社会学の学びを通じて、当時崩壊しつつあると言われた地域コミュニティの再生を保育園が核になって進めていくという考え方に共感したからです。

林先生 私の場合、当時通っていた都の養成施設の実習先の保育園で子どもたちと実際にふれ合い、「未来」を感じたこと。そういうキラキラしたものに会って、やりがいを感じたのがきっかけです。

▼男性ならではの保育とはどういうものだとお考えですか？

林先生 子どもたちと触れ合うなかで、声のトーンや体の感触など、やはり女性とは違う刺激を子どもたちに与えているように思います。そういう部分に、子どもたちは男性ならではの安心感を感じているかもしれません。

西巻先生 ただ、男性保育士がいることが特殊なことという感覚を覚えるならば、子どもが育つ環境としては不完全と言わざるを得ません。子どもたちには、男女に限らずより豊かな個性が感じられる環境が必要だと思えます。

一瀬先生 見方によってはまだ、防犯上といった理由で男性保育士を求める園もないわけではないかもしれません。でも、西久保保育園は、



左から、西巻先生、一瀬先生、林先生。西巻先生は在園23年のベテラン保育士です

西久保保育園 保育士
 にしひさ たみかず
西巻民一さん
 はやし ゆい
林唯さん
 いしむね しんじ
一瀬慎吾さん

子育ては基本的に男性も女性もみんなやるべきだという考え方の園です。男性保育士として、最初からそういう方針の園で働けるのはとても幸せなことだと思います。

▼男性保育士のこれからの役割を教えてください

林先生 私たち自身も保育園に通う子どもがいる父親です。そういう子育て世代の父親側のよき理解者でありたいと思っています。実際、男性保育士ということで、お父さんから子育てについて相談されることもあります。そういう意味で、男性保育士の存在が、父親が子育てに参加する一つのきっかけになればうれしいですね。

【取材・文 関口直子、取材同行 山田加代子】

子どもたちの心の栄養には 男性も女性も必要

臨床心理士として、市内の小中学校で教育相談員を務める 鬼頭啓介さんにお話を伺いました。

きとう けいすけ
鬼頭啓介さん

武蔵野市教育委員会 教育部教育支援課 教育支援センター教育相談員



日々、子どもたちに勉強させてもらっています

私が心理学に興味を持ったのは、高校2年生の頃。学校の倫理の授業で担当の先生から哲学的な話を聞いたのがきっかけです。ちょうど受験を控えた時期だったので大学を選ぶ決め手となりました。心理学を専攻した大学在学中に臨床心理士という資格があることを知り、「この職なら、『人のためになる仕事をしたい』という自分の希望も叶う」と大学院へ進み、資格を取りました。

臨床心理士の7割は女性です。活躍の場は医療や企業など様々ですが、教育の領域に入る男性は同期でも少ないです。私があるて学校を選んだのは、子どもたちに関わる仕事を通じて、子どもやその周りの大人がより暮らしやすい社会を作るお手伝いができたらーと感じたから。

大学院時代の実習の担当は、思いがけず2件とも子どもでした。その子どもたちに関わることにとてもやりがいを感じ、「自分は子どもが好きなんだな」と改めて気づきました。医療や企

業への就職を考えていた自分の希望とは違う経験をしたことで、自分に本に向いている職場に出会えた気がしています。

この仕事を始めて3年目になりました。小学校1年生だった子どもたちが3年生になり、「おー、こんなこともできるようになったのか。大きくなったなあ」と児童の成長を嬉しく見えています。

子どもたちが育つ上での心の栄養には、男性も女性も必要だと思います。私は男性の臨床心理士として、子どもたちの父性や男性像のモデルの一つでありたいと思っています。思春期を迎える小学校高学年から中学校の子どもたちにとって、プラスになる存在でありたいです。

【取材・文 小林美香】

INFORMATION

市民協働推進課 男女共同参画担当から

●平成24年度 男女共同参画施策予算について

平成24年度市民協働推進課男女共同参画担当の予算は19,386,000円です。内訳は、

男女共同参画推進市民会議費 4,613,000円

武蔵野市第三次男女共同参画計画策定のための検証・検討を行う市民会議費及び、男女共同参画意識調査業務委託費。

むさしのヒューマン・ネットワークセンターの管理運営費 10,452,000円

武蔵境市政センター2階の市の男女共同参画施策を推進する拠点であるむさしのヒューマン・ネットワークセンターの管理運営費。学習・研修機能、情報提供機能、市民交流・活動支援機能等、重要な役割を担っています。事業委託料、人件費、光熱・電話・回線通信費、複写・印刷機借上料など。

男女共同参画施策事業費 4,321,000円

男女共同参画情報誌「まなこ」作成、講演会・講座、男女共同参画推進団体活動補助金など。

●男女共同参画推進団体活動補助金について

男女共同参画推進団体が男女共同参画社会の実現に向けて行った研修・調査・研究等の活動に対し、活動の活性化と市の施策の推進を目的として、経費の一部を補助しています。

補助金の交付は、1団体各年度1回、上限5万円です。申請団体が多数の際や審査結果により、交付されない場合もあります。手続きは市民協働推進課へお問い合わせください。

平成23年度6団体実施（①団体名②内容）

- *①ゆびとま子育て@吉祥寺②イベント「深めよう家族のきずな@吉祥寺」
- *①共同参画むさしの②映画鑑賞及び意見交換会「The ダイエット：監督と語る会」
- *①HBB(Happy and Boon Buddy)②講演会「みんなで子育て「脳科学から学ぶ愛着の絆」」
- *①武蔵野ブラショフ女性問題研究会②シンポジウム「ルーマニア社会における女性の生き方の変遷」～立場別に見た、歴史的見地からの考察～

企画政策室 市民協働推進課 男女共同参画担当 TEL: 0422(60)1869 FAX: 0422(51)2000 URL: <http://www.city.musashino.lg.jp>

- *①武蔵野・子どもと絵本プロジェクト②子どもたちとパパとママのための絵本講座「パパだって一緒に楽しみたい読み聞かせ」
- *①らっここの会②「1000人のピースウーマン」上映会
- ◎平成24年度の男女共同参画推進団体登録は現在29団体です。

●平成24年度 市職員採用状況

平成24年度、市職員の新規採用者は24名です。男女比は一般事務職で女性10名、男性9名。一般技術職は女性2名、男性3名。

●むさしのヒューマン・ネットワークセンターの管理運営体制の変更について

平成24年度から、センターの管理・運営は市がおこない、一部の事業についてはむさしのヒューマン・ネットワークセンター運営協議会へ委託しています。

●男女共同参画推進市民会議（第3期）の意見書ができました

武蔵野市第二次男女共同参画計画の推進について検討し提言するため、平成23年9月に設置され、全6回の会議を開催しました。6名の委員により活発な議論がなされ、その検討結果をまとめた意見書を平成24年6月11日に市長へ提出しました。



6月11日に邑上市長へ提出しました

意見書は西棟7階市民協働推進課、図書館、むさしのヒューマン・ネットワークセンターで閲覧できます。また、市ホームページでも公開しています。

●改正育児・介護休業法の全面施行について

平成24年7月1日より、これまで適用が猶予されていた短時間勤務制度、所定外労働の制限、介護休暇について、従業員数が100人以下の事業主にも適用となります。詳しくは厚生労働省のホームページをご覧ください。

もしDVにあっているなら…相談窓口をご案内します

- 武蔵野市役所 母子(ひとり親)・女性相談 0422-60-1850 (祝日・年末年始を除く月～金曜 9:00～17:00)
- 警視庁総合相談センター 03-3501-0110 (祝日・年末年始を除く月～金曜 8:30～17:15)

- 【配偶者暴力相談支援センター】
- 東京ウィメンズプラザ 03-5467-2455 (年末年始を除く毎日9:00～21:00)
- 東京都女性相談センター多摩支所 042-522-4232 (祝日・年末年始を除く月～金曜9:00～16:00)
- 東京都女性相談センター 03-5261-3110 (祝日・年末年始を除く月～金曜9:00～20:00)

- 夜間・緊急の場合
- 警察(事件発生時) 110番
- 東京都女性相談センター 03-5261-3911 (夜間・休日のみ)
- 武蔵野市役所 女性総合相談 専門の女性相談員が対応します。予約制 第2木・第4火(相談時間50分) 予約専用 0422-60-1921

「模索パパ」達よ、今こそ丸山麻帆 ●吉祥寺北町 父親チャートで「模索パパ」と診断されたうちのパートナー。できる限り育児に関わりたいが、育休などの制度を取るには抵抗があるらしい。これまでの「一家の稼ぎ手」である父親像と、その縛りから解放され自分の自由に選びたい個の望み。男性もこの「日本」という国が作り出した役割にがんじがらめにされているのだな、と実感した。ともに生きやすい社会を実現するため、今こそ一歩を踏み出す時ではないかと思う。

「人は女に生まれるのではない、女になるのだ。」というフランス人作家の書いた文章を読んで「なるほど、そのとおり。」と、共感したのは「女の子なんだから」という制限つきのお説教を学校などで何度も聞いていた頃のことです。そのとき隣で男の子は一体どう考えていたのでしょうか。そして今、とかく女性目線から考えがちな男女共同参画について男性はどう考え、どう動いているのかを知ることが次への一歩なのではないかと思えます。

男性からの視点を知る 梶薫 ●緑町 「最近の男性は女性にも経済的自立を求めているように感じる。私自身、第一子を妊娠したときに夫から「保育園に預けて働いてほしい」と言われた。しかし、つわりがひどくなり辞めざるを得なくなりました。いざ辞めてみると、夫は一度も「働いたら」とは言わず家事にも育児にも協力的。確実に夫は優しくなった。だが、仕事の厳しさで達成感を懐かしく思うことがある。子どもたちが小学生になったら自分もある程度経済的に自立したい。」

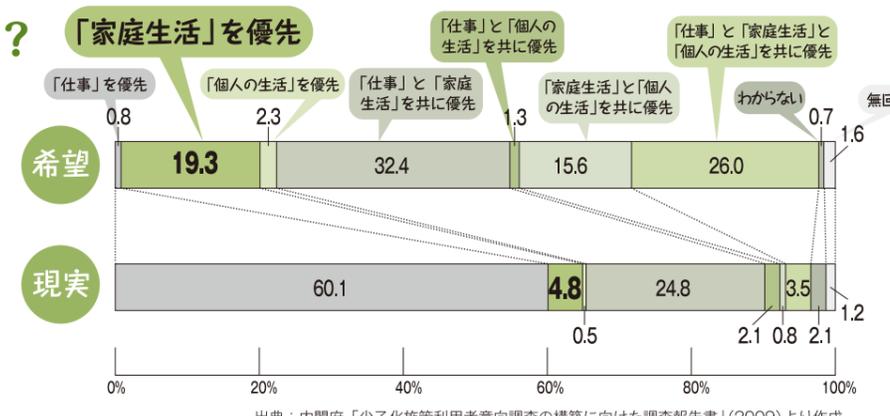
自立したい 青山ゆづ子 ●吉祥寺本町 「最近の男性は女性にも経済的自立を求めているように感じる。私自身、第一子を妊娠したときに夫から「保育園に預けて働いてほしい」と言われた。しかし、つわりがひどくなり辞めざるを得なくなりました。いざ辞めてみると、夫は一度も「働いたら」とは言わず家事にも育児にも協力的。確実に夫は優しくなった。だが、仕事の厳しさで達成感を懐かしく思うことがある。子どもたちが小学生になったら自分もある程度経済的に自立したい。」

Reporter's 200 words 「まなこ」レポーターの200字コラム 「男性たちの現在」にしよう

数字で見る男女共同参画 Vol. 4

これって何の数字？

4.8%



実際に家庭生活を優先できている男性（既婚、12歳未満の子ども有り）の割合です

「今日は何時に帰ってくるの？ 子どもをお風呂に入れてほしいんだけど…」「仕事が終わるかわからないんだ、ごめん！」

毎朝、どれだけの家庭の玄関先でこんな会話が繰り返されているのでしょうか。その実態を示した数字があります。

上図は、平成21(2009)年、内閣府による「少子化施策利用者意向調査の構築に向けた調査報告書」によるもので、12歳未満の子どもがいる既婚男性における、生活の中での「仕事」「家庭生活（家事・育児や家族との生活）」「個人の生活（個人的な趣味や学習、知人との交流）」の優先度に関する「希望と現実」を表したものです。「希望」において「仕事を優先」とする回答は0.8%とほとんどありませんが、「現実」においては6割が「仕事を優先」している様子が示されています。また、「家庭優先」を希望する人の割合が19.3%あるものの、現実には4.8%と、男性の「希望と現実」は大きくかけ離れており、家庭を優先したいと考えている世の中の男性が、現実にはまなならず葛藤を抱えている様子が伺えます。

「今日も遅いのっ!？」といらだつ気持ちも、パートナーの「希望と現実」を知れば、優しい気持ちになれるかもしれませんね。

[文 関口直子]

『まなこ』は文字通り「^{まなこ}眼」。人やまちや文化や地球を、男女共同参画の視点＝「まなこ」で見ている！という思いで名付けられました。1991年創刊以来、市民が企画・編集にかかわっています。

平成24年度『まなこ』レポーター会議

レポーターを紹介します！

■青山ゆう子 (30代)

女性の人生は周りの状況で様々に変化する。たくましく、しなやかに生きていくための術をいろいろな方達から学んでいきたい。

■岡部三香 (40代)

武蔵野市民にしかできないと思い、参加しました。今の時間を大切に、学び続けたいです。機会を頂き、ありがとうございます。

■梶 薫 (40代)

生き方・いろいろ・ゆたかな人生というキャッチフレーズの『まなこ』に関わり、本物の豊かな生き方を探していきたいと思います。

■田嶋真紀 (50代)

人との出会い、そしていろんなことを経験することは、私の喜びです。『まなこ』を通じてそんな喜びがまた広がりますように。

■星山里恵 (40代)

武蔵境駅北口にある商店街、すきっぷ通りに住んでいます。和すれども同ぜず、をモットーに『まなこ』に取り組んでいきたいです。

■丸山麻帆 (30代)

まなこを読むと新しい学びや発見と共に自分に出る事は何かと考えさせられます。当事者意識を忘れずにその答えを探していきたい。

■矢後麻美 (40代)

世に出て久しい「男女共同参画」という言葉。しっかりと根付いたのか、はたまた言葉の独り歩きか。見つめ直す機会となりそうです。



5月24日(木) 10:00～12:00
市役所 411 会議室にて

活動補助金事業を紹介します

6月23日(土)、むさしのヒューマン・ネットワークセンターにおいて、市の男女共同参画推進団体のHBB(Happy and Boon Buddy)の主催で、目白大学社会学部教授の島田治子さんを講師に「メディアに作られた私たち」と題したセミナーが開催されました。(参加者23名)

新聞記者やテレビディレクター経験のある講師から、メディアの中にあるエンタマーの問題について、実例を交えたわかりやすいお話があり、いかにメディアにイメージを作られているか、メディアの見た方を考えるきっかけとなるセミナーとなりました。



BOOKS

貸し出ししています

むさしのヒューマン・ネットワークセンターの蔵書から

『まだ結婚しないの?』に答える理論武装

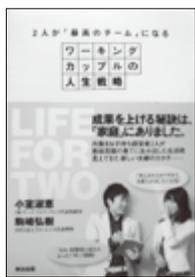
伊田広行著 「光文社新書」



「結婚は不幸せ」なのか。結婚してないと、周りからは「まだ結婚しないの?」という話があがつたりする。結婚とは、いったいなんだろうか。周りと自分を比べて焦ったり、人を気にしてするものなのか。本書からは、周りの価値観や風潮に染まらず、自分自身の魅力高め、自信を持つことの大切さや結婚だけにとらわれない「自分の自立」などについて考えさせられるだろう。結婚している人にも読んでほしい1冊である。

『2人が「最高のチーム」になるワーキングカップルの人生戦略』

小室淑恵・駒崎弘樹著 「英治出版」



共著者の二人は、ともに共働き&子持ちの経営者である。先の見えない時代において、「共働き」は生活におけるリスク軽減になるという。また結婚とは、終着点ではなく、お互いが成長するプロセスであるとし、夫婦が互いを対等なパートナーとして、尊敬し合い、サポートすることが大切だと述べている。自分らしく生き、働いて、日常をよりよいものにしていくためのヒントがたくさん見つかりそうです。

男女共同参画社会とは?

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会

(男女共同参画社会基本法第二条より)

むさしのヒューマン・ネットワークセンターは、男女共同参画社会を実現するための推進拠点施設です
武蔵野市境2-10-27 武蔵境市政センター2階 tel・fax 0422(37)3410 E-mail mhnc@tokyo.email.ne.jp URL http://www.mhnc.jp/

Editors' Notes 編集 * 後記

働きに見合う対価は励みになる。金銭的価値に代わらないモノにこそ人生にプラスになることは多いのかもしれない。(小林美菜)

若者たちには既に男女共同参画の意識が根づいているとは嬉しい衝撃。今度は社会を担う人たちが変わる番です。(詩水淳子)

『まなこ』を通じて、新しい出会いがあり、それぞれの分野で頑張っている方たちを知り、刺激されました。私ももうひと頑張りします!(杉田真奈美)

男性だから、女性だからということではなく、一人の人間として、日々一生懸命生きる! 素敵な生き方だと思いませんか?(関口直子)

今回から表紙のイラストを描かせていただくことになりました。『書くこと』と『描くこと』でいろいろな人とながれたら...とワクワクしています。(藤原理和)

◎ 綴じ込み返信はがきで、ご意見やご感想をお寄せください。
次号は24年12月中旬発行予定です。

* STAFF *

レポーター: 青山ゆう子 岡部三香 梶 薫 田嶋真紀
星山里恵 丸山麻帆 矢後麻美 山田加代子
取材・編集: 小林美菜 詩水淳子 杉田真奈美 関口直子
藤原理和 市男女共同参画担当職員
編集協力: 栗原 毅
イラスト: 藤原理和
デザイン: 上田ジュンコ
印刷: プリンティングイン株式会社

『まなこ』は市役所、市政センター、図書館、コミュニティセンター、駅、市内の医療機関、美美容院、大型店舗、金融機関、おふろやさんなど市内の約450か所に置いてあります。バックナンバーをご希望の方は、市民協働推進課男女共同参画担当まで。